



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,804	14.4	318	232.3	317	249.4	208	280.3
30年3月期第1四半期	5,949	3.2	95	△31.9	90	△32.5	54	△37.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 193百万円(206.9%) 30年3月期第1四半期 63百万円(△10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	99.27	—
30年3月期第1四半期	26.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	15,296	4,908	31.1
30年3月期	15,514	4,825	30.1

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,756百万円 30年3月期 4,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,168	9.5	383	53.5	374	53.6	244	56.5	116.30
通期	28,000	7.7	993	10.8	970	9.2	652	62.7	310.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	2,100,000株	30年3月期	2,100,000株
31年3月期1Q	64株	30年3月期	64株
31年3月期1Q	2,099,936株	30年3月期1Q	2,099,936株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、国産車新車販売において、前期第4四半期以降の受注状況が好調であったため売上高が増加いたしました。輸入車販売においても改革が進みました。平成29年1月にオープンした亀山市のオートモール（新車・中古車の複合商業施設）が黒字化(前年同期四半期)となりました。また、中古車販売においても物流システム及び中古車商品等の見直しを更に強化いたしました。これらの結果、売上高は68億4百万円と前年同期と比べ8億54百万円(14.4%)の増収、営業利益は3億18百万円と前年同期と比べ2億22百万円(232.3%)の増益、経常利益も3億17百万円と前年同期と比べ2億26百万円(249.4%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益も2億8百万円と前年同期と比べ1億53百万円(280.3%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は68億4百万円と前年同期と比べ8億54百万円(14.4%)の増収、営業利益は3億18百万円と前年同期と比べ2億22百万円(232.3%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産車新車販売においては、N-BOXが引き続き好調であり、国産車新車販売台数は前年同期比19.4%増の1,226台となりました。また、輸入車においては、拡販施策等の改善が進んだことで、輸入車販売台数は前年同期比45.4%増の157台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比21.9%増の1,383台となりました。中古車販売においては、引き続きグループ間連携の強化を図り、中古車商品在庫の早期入替等、物流システムの見直しを図った事で、中古車販売台数は前年同期比5.5%減の2,482台となりましたが、中古車粗利益が改善されました。

また、販売費及び一般管理費については、人件費、設備費等は増加いたしました。販売費の見直しにより、増加額を抑える事ができました。これらの結果、売上高は66億14百万円と前年同期と比べ8億33百万円(14.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3億44百万円と前年同期と比べ2億13百万円(162.5%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、鉄・アルミ等の資源価格相場が緩やかながら回復傾向が継続しております。また、リユースパーツ販売を強化することで安定した売上を確保することが可能となりました。これにより生産台数(再資源化处理)は前年同期比1.7%増の2,105台となりました。また、使用済自動車の在庫は、前年同期比10.6%減の2,002台となりましたが、使用済自動車在庫の調整により、生産台数に影響がありませんでした。これらの結果、売上高は1億90百万円と前年同期と比べ21百万円(12.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は40百万円と前年同期と比べ12百万円(45.1%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益は、借入金等の資金効率が図られた結果、支払利息等は減少いたしました。これらの結果、経常利益は、営業利益の増加により3億17百万円と前年同期と比べ2億26百万円(249.4%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は3億17百万円と前年同期と比べて2億26百万円(249.4%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は1億1百万円となりました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8百万円と前年同期と比べ1億53百万円(280.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2億17百万円減少し、152億96百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少2億45百万円、商品及び製品の減少61百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より3億1百万円減少し、103億87百万円となりました。これは主に、前受金の減少2億45百万円、買掛金の減少1億64百万円、借入金の増加1億9百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より83百万円増加し、49億8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億8百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、平成30年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,070	655,913
受取手形及び売掛金	360,057	384,718
商品及び製品	2,815,904	2,754,684
仕掛品	1,573	2,800
原材料及び貯蔵品	40,695	32,944
その他	193,955	250,128
貸倒引当金	△362	△274
流動資産合計	4,312,895	4,080,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,231,016	3,186,094
土地	5,823,949	5,823,949
その他（純額）	977,690	1,018,164
有形固定資産合計	10,032,656	10,028,208
無形固定資産	54,898	64,091
投資その他の資産	1,113,985	1,123,247
固定資産合計	11,201,539	11,215,547
資産合計	15,514,434	15,296,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,832,318	1,667,639
短期借入金	4,224,485	4,428,080
未払法人税等	231,752	134,115
前受金	1,118,431	872,531
賞与引当金	149,153	77,970
その他	533,314	686,013
流動負債合計	8,089,456	7,866,349
固定負債		
長期借入金	1,594,821	1,500,799
役員退職慰労引当金	276,341	279,470
退職給付に係る負債	672,115	682,786
その他	56,344	58,547
固定負債合計	2,599,622	2,521,603
負債合計	10,689,078	10,387,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	2,342,255	2,445,728
自己株式	△107	△107
株主資本合計	4,652,218	4,755,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,694	12,242
退職給付に係る調整累計額	△11,751	△11,388
その他の包括利益累計額合計	22,942	853
非支配株主持分	150,195	151,965
純資産合計	4,825,356	4,908,510
負債純資産合計	15,514,434	15,296,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,949,955	6,804,878
売上原価	4,918,982	5,512,841
売上総利益	1,030,973	1,292,037
販売費及び一般管理費	935,018	973,147
営業利益	95,955	318,890
営業外収益		
受取配当金	2,835	2,892
受取賃貸料	2,850	2,850
受取保険金	36,000	2,959
その他	2,127	1,230
営業外収益合計	43,814	9,932
営業外費用		
支払利息	12,139	9,771
支払手数料	1,110	875
和解金	35,000	—
その他	659	754
営業外費用合計	48,909	11,401
経常利益	90,860	317,421
税金等調整前四半期純利益	90,860	317,421
法人税、住民税及び事業税	48,769	123,093
法人税等調整額	△17,359	△21,527
法人税等合計	31,410	101,565
四半期純利益	59,449	215,856
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,627	7,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,822	208,469

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	59,449	215,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,616	△22,452
退職給付に係る調整額	1,100	436
その他の包括利益合計	3,717	△22,015
四半期包括利益	63,167	193,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,477	186,380
非支配株主に係る四半期包括利益	4,690	7,459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,780,706	169,249	5,949,955	—	5,949,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,546	7,494	11,040	△11,040	—
計	5,784,252	176,743	5,960,996	△11,040	5,949,955
セグメント利益	131,208	28,223	159,431	△63,476	95,955

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,476千円には、セグメント間取引消去△495千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△62,980千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,614,357	190,521	6,804,878	—	6,804,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,554	7,396	10,951	△10,951	—
計	6,617,911	197,918	6,815,829	△10,951	6,804,878
セグメント利益	344,405	40,939	385,345	△66,455	318,890

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,455千円には、セグメント間取引消去△677千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,777千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。